

海外派遣留学プログラム月間報告書 (報告期間：2017/09/22～2017/09/30)

1. 勉学の状況

9月はまだ授業が始まっておらずオリエンテーションのみでしたが、英語しか話せない空間にすごく疲れを感じ、10月2日から授業が始まるので不安がいっぱいです。日本にいるときも人より寝ることが多い人間だったので、疲れと眠気に耐えながら頑張りたいと思います。他の留学生たちも担当の先生も優しいので、わからないことがあった時はすぐに解決できるようにしたいなと思います。学生によるナントのプチツアーが行われて楽しかったです。これからもっとこの生活を楽しまたいなと思います。

2. 生活の状況

ナントについての初日に「なんとなくナント」の支援を受けつつ寮の入寮手続きを行い、ドライヤーを買いに行きました。ナントではあまりドライヤーを置いているお店がなく、見つけるのが大変で日本で買っておけばよかったと後悔しました。夜は主催するチーズパーティーに参加し、ナントで生活している日本人留学生と交流することができました。(ついたばかりだったため、最後の方は疲れて寝てしまいました。笑) また、次の日には、みんなでナントの警察署に行き、防犯についてのレクチャーを受けました。

気候については、日中については日差しが出ていてポカポカしているのですが、朝夕は日本よりも冷え込むので油断して風邪をひかないように気をつけようと思います。また、日が出ている日中は散歩をするのにちょうどいいです。私も近くにあるパン屋さんで「パン・オ・ショコラ」を買い、川沿いを散歩しました。



海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2017/10/01 ～ 2017/10/31)

1. 勉学の状況

10月2日から授業が始まり、最初の1週間は今後のLONG PROJECTの方法を知るためのワークショップが行われました。この1週間は朝9時に始まり夜18時まででなおかつ内容が詰め込まれていて体力的にきつかったですがメンバーのおかげで楽しく終えることができました。内容は、未来のスマートウェアについてで、最終発表は動画という形でした。私たちの班は6人グループで私以外みんなフランス人という環境だったので、フランス語で話し合うときも多かったですが、その後内容を教えてくれるのでなんとかついて行くことができました。私たちの班の最終提案は人と人のコミュニケーションを重視し、触れ合うと相手の鼓動に合わせた柄が自分のシャツに浮かび上がるというものを考えました。



グループメンバーとの写真



提案内容

通常の授業は4つのコースの中から1つ好きなものを選び授業を受けるというようになっています。私は Industrial Design のコースを選択しています。このコースは、製品のスケッチや作り方、3Dの作り方や商品分析方法などを主に学びます。また、オプションで私は Photography の授業を取っています。

Long Project ではフランスの某容器会社と提携し、新しい香水のサンプルを考えるというものです。店舗、雑誌、ネットのそれぞれについて新しいサンプルの提供の仕方を考えます。フレーズ1では色々なストーリーを考え、それらから考えられる可能性について話し合いコンセプトを3つに絞りました。この3つについてプレゼンを行い、このうち2つのコンセプトについて考えて行くことになりました。私たちの班は「surprise」「no judgment」の2つになり、私は主に

「surprise」について考えることになりました。これからアイデア展開を行なっていくのでどんな展開になるのか楽しみです。

他の授業に関しては、順番に紹介していこうと思います。今回は「model making」の授業について書こうと思います。この授業は基本的に様々な工具を使い、自分のアイデアを形にしてみるというものです。今回は「playing」というテーマで遊ぶものを考えます。私は子供向けの遊び場を作ろうと考えています。今は、材料などを調べているので本格的に作り出したらいいものが作れるようにがんばろうと思います。

2. 生活の状況

10 月前半は食べたいものがこっちにはなかったり、胃が痛くなったり、調理器具を買っていなかったりしたのでチーズや生ハムばかり食べていましたが、今ではサラダを食べたり、料理を少しずつするようになったと思います。それでも元々料理をするのが好きではなく、共同キッチンに行くのが面倒だったりして他の人に比べたらあまりいい食生活はしてないかなと思います。太らないように、できればちょっと痩せられるように食生活を改善していけたらなあと思います。

天候としては急に気温が下がってきたので風邪をひかないように気をつけようと思います。寒いのが苦手なので日本からユニクロのヒートテックをたくさん持ってきて良かったと思っています。ナントは太陽を見られる日が今はまだ多いので嬉しいです。たまに部屋で太陽の陽を浴びながら日向ぼっこをしたりしています。あったかくて良い昼寝ができます。部屋が太陽の陽の光が当たる方で良かったと思う今日この頃です。

今月はナント市内を一人でふらふらしてみたり、飲みに行ったり、仲良くなった子と写真を撮りに出かけたり、パリにも行きました。こちにきて、新潟大学からフランス語留学に来ている人たちと仲良くなり、金曜日の夜にお互いの寮で飲んだりしました。大学に日本人がいない上に、私はおしゃべりが大好きなのでこの時間はすごく楽しくストレスの発散ができるものでした。日本語でおしゃべりができるありがたみをすごく感じています。



ナントの有名な機械仕掛けのゾウさん



ナントの中でカラフルで可愛い場所



ナント美術館

ナント島の川沿い

植物園

10月の最後にはパリに行きました。初めてのパリで、犯罪が多いと聞いていたのでドキドキしていましたが、何もなく無事に終わりました。今回はたまたま高校の時の友達がこっちに來ていたので2人で色々なところを観光しました。定番の観光地にはいけたと思いますが、まだまだ行けていない美術館などが多く残っているのもう一度パリには行きたいなと思います。また、フランスの学生証があると美術館にタダで入れるので有効活用したいなあとと思います。エッフェル塔の上まで登りましたがとても寒かったです。でも景色は最高に良かったので寒さを我慢して良かったなあとと思います。マルシェにも行きました。活気があって全て美味しそうに見えました。久々に外食をして美味しいものを食べられたので、体も心もとても満たされました。気心を知れている友人と旅行をするのは気を使わなく、楽しいものだったのでたっぷりリフレッシュできました。



マルシェの写真とエッフェル塔からの景色と美味しいジェラートの写真です。

海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2017/11/01 ～ 2017/11/30)

1. 勉学の状況

授業開始から1ヶ月以上が経ちました。いくつかの授業は12月の頭で最終プレゼンがあり、終りを迎えました。またWorkshop weekと言うものもあり、1週間でデザインのプロセスを実際に行いながら企業の方から教わりました。今回も何個かの授業の内容を紹介したいと思います。

○Model making

このクラスでは材料に触り、考えながら自分の作りたいものを作ります。私たちは“playing”というテーマでアイデアを出し、モデル作りに励みました。私は、3～5歳の子供をターゲットとし、様々な感触のある遊び場を作りました。フレームの木材は、学校で用意されたものの中から見えそうな物を見つけ、木について詳しい“Wood school”で表面の処理をしてもらい、その後組み立てを行いました。中身となるクッションについては、学校にあるミシンを使い作りました。最終プレゼンが行われたのですが、作業が全然終わっていない人が多くて驚きました。1月に展示会をやるので、その時までには個人個人で作業を行い仕上げてくるみたいです。私もフレームの手直しやクッションの中身の交換などを行い、きれいなものを展示できるようにしたいなと思います。



遊び場

○Photography

このクラスでは、一眼レフカメラについての基礎や設定の仕方、写真の構図の決め方や編集の仕方について学びます。公園に行き風景写真やポートレートを撮ったり、学校のカラージでライトペイントのやり方を教わりました。私はもともと写真を取ることが好きなのでいろいろなことが学べて嬉しいですが、撮られる側にもならなければならないのでそこだけが慣れないところです。12月には夜に授業を行うことがあるみたいなのでワクワクしています。



カラージでの写真

2. 生活の状況

11月になり、日本よりも寒いと感じる日が増えてきました。ただ、日が出ている間は温かいのでマイチに服装に困ります。なるべく重ね着をして対応できるようにしています。日によっても気温差がすごいので少し体調を崩しましたが、知り合いに看護師や薬剤師がいるので症状を説明し、持っている薬の中でどれが効くかなどを相談できたのでなんとか元気に過ごすことができました。留学するときにはなるべく多様な薬をもって

きておいたほうがいいなあと思いました。食生活はりんご、バナナ、フランスパン、チーズ、ヨーグルトばかり食べていますが、フランスではすべて安くて美味しいので日本に変えるまでに堪能したいなあと思ってます。また、日本食が恋しくなり、ラーメンを食べに行きました。日本のものに比べて少し小麦粉の感じが強いかな？と感じましたが、とっても美味しく日本を感じることができました。その後、違う大学で日本語を学んでいるフランス人のお友達とともに Bretagne Tour の最上階にあるバーに行きました。お酒も美味しく夜景も素敵でとてもいい時間が過ごせました。他の大学にも友だちができて嬉しいなあと思います。また、ワーキングホリデーでナントに来ていた方とも仲良くなり、みんなでボーリングに行きました。日本とは違うところが多かったり、みんなそれぞれ喋れる言語が違うので会話するが大変だったりしましたが、とても楽しかったです。ボーリング場はトラムの最終駅まで行かなければならないので少し遠いですが、日本のサービスがどれだけ丁寧か感じることができるので時間があるときは行くことをおすすめします。

そして新潟大学から留学に来ていた子でディズニー好きな子がいたため、二人でパリディズニーに行きました。パーク自体は日本のディズニーに比べて小さい気もしますが、乗り物もショーも楽しかったです。絶叫系のアトラクションは日本よりも激しく、絶叫好きの人ならすごく好きだと思います。またショーに関しては、室内で鑑賞するショーが充実していて季節や天候問わず楽しめるなと思いました。泊まりで行ったのですが、駅からホテルまでのシャトルバスはとても壮絶でした。日本とは違い並んで待つということはなく、バスが停まった瞬間にみんな我先に乗り込んでいてすごく辛い空間でした。4回ほどバスを待ってからようやくバスに乗れたのですが、乗る直前に目の前で女性同士が髪を掴み合って口論をしていてとても驚きました。乗ったあとも口論が続いていて怖い空間でした。ホテルに付いたあと、フロントボーイの人がすごく優しくてホッとしたところを鮮明に覚えています。

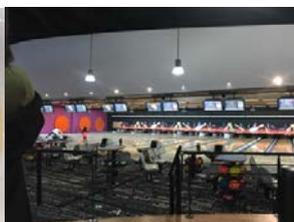
12月は旅行を控えているのでとても楽しみです。



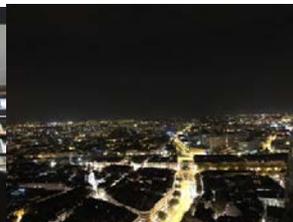
ラーメン屋さん



ラーメン



ボーリング場



ナントの夜景



海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：12/1 ~ 12/31)

1. 学習について

12月に入り、4つの授業が終りを迎えました。残りの授業も1月中旬に終わるため、佳境という感じになってきました。師走という言葉のように忙しく過ぎていったなあという感じがします。また授業時間を使い、みんなでクリスマスプレゼント交換を行ったりしてとても楽しい時間もありました。(2)

Long Project はアイデアが固まり、プロトタイプを作成し検討していく段階になりました。フランスの雑誌の付録と日本のものではものすごい差があり、日本の付録は多種多様にわたっているなあと思いました。日本と違い盗難や配送中の破損が多いので、考えていくべきことも必然的に異なっていくなとひしひしと感じています。残り少ない時間でより良いものにできるように、ペアの子と協力をしながら最終プレゼンに進んでいきたいと思います。

Photography の授業では初めて街中に行き、夜の撮影を行いました。(3) いつも見ている景色が違う景色に見えて写真を撮るのがとても楽しかったです。イルミネーションがキラキラしていて街中が輝いて見えました。

またインターナショナルデーという留学生たちが自分の国の料理などを紹介するイベントもありました。(1) 日本人は1人だったため、千葉大学や日本に留学経験のある人達が手助けをしてくれました。大学で日本語を喋れることがないので、初めて話せてとても嬉しかったです。私は料理がうまくないので卵焼きを作って持って行きましたが、美味しいと行ってもらえて良かったです。またわさび味のお菓子も持っていきましたが、とても好評でした。他の国の料理やお菓子なども食べれたり、いろいろな人と喋れてとても楽しい一日でした。

2. 生活について

12月は授業が忙しかったりしましたが、クリスマスから年明けにかけて2週間程度の休みがあるので、私はその休みを利用し、フィンランドのヘルシンキとモンサンミッシェルに行きました。

ヘルシンキでは友達の家泊まらせてもらいました。アアルトはもう授業が終わっているため、友達の家も6人中2人の日本人しか残っていませんでした。その為、留学期間にも関わらず、日本語をたくさん喋れて楽しかったです。クリスマスに行ったので空いていないお店が多く24日の午後から25日にかけて友達の家引きこもった生活をしました。2人でサーモンスープやフィンランドのパイ(4)を作ったり、日本の昔のドラマを見返したりして毎日朝4時ぐらいまで2人でいろいろな話をたくさんしました。また、26日27日は街中に行ったり、いろいろなところを巡ってとても楽しかったです(5)。また他の国に留学に行っているみんなと会うことができ、いろいろな話を聞いて良かったです。

また30日は1人でモンサンミッシェルに行きました。ナントからはレンヌまで電車で一本で行き、そこからモンサンミッシェル行きのバスに乗ればいけるのでとても行きやすいです。この日は雨が降っていて風も強く、写真を撮るのには不向きでした(6)。モンサンミッシェル内の見学はフランスの学生証があれば無料で入ることができるのでとてもありがたかったです。天気があまり良くなかったこともあり、観光客が少なめだったため、中はあまり混雑しておらず見やすかったです。まだ満足した写真がとれていないので、天気が良い日に再チャレンジできたらいいなあと思っています。



海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：1/1 ~ 1/31)

1. 学習について

1月になりすべての授業が最終を迎えました。1 Semesterかけて臨んだ"Long project"ですが、ペアの子と納得できるものが作れたので良かったなあと感じています。私達のグループは雑誌の付録としての新しい香水サンプルの形を"Surprise"というコンセプトの元、形や使用方法が異なる5つの提案しました。香水をつけることでブランドの名前が現れるというアイデアを、実際に水がつくと透明になるインクを使用してプロトタイプを作り(1)、使用者がどのような使い方や体験をするかなどを手を動かして考えることはとても楽しかったです。3Dの作成(2)にも挑戦できました。他のグループのアイデアも面白いものが多く、今後の参考になるものでした。

フランス語の授業のテストもありました。挨拶程度しかできなかったフランス語も、意味が分かる単語が増えてきたりしていることなどを言えるようになりました。まだまだ日常会話などはできませんが少しコミュニケーションが取れるようになったのでこれからは忘れないようにしたいなと思います。

自分ではあまり成長できた感じはしませんが、最初の頃は英語を聞き取ることで精一杯だったり、伝わらないことが怖くて英語を話すことが全然できませんでした。最後の方は伝わらなくても伝わるまで英語を話してみたり、自分の意見も言えるようになったので成長できているのではないのかなと思いました。

2. 生活について

フランスの元旦は日本とはまた違った雰囲気でした。お店も空いていないので寮の部屋に引きこもり、日本の友達とスカイプをしながら日本の年越しを迎えたりと、今後経験することがないようなことができたので良かったです。

また、3泊4日でスペインへ1人旅行にも行きました。スペイン内で遠い距離を移動したので、1日での寒暖差が大きく少し風邪気味になってしまいました。しかしながら行きたかったミハス(3)、マドリッド、バルセロナに行くことができたので良かったです。バルセロナではガウディの建築(4)にたくさん触れることができ、とても嬉しかったです。しかし行った日が祝日だったため行くことができなかったところも多く、時間があればもう一度行きたいなと思いました。

2月11日にケルンに移動することが決まっていたので授業が終わった後、日帰りでボルドーに行きました。急に決めたことだったので見たかった"Cite de Vin"が休館日でしたが他のワイン博物館に行き、ワインについて学んだり試飲ができ、とても楽しかったです。有名な水鏡を見ることも楽しみにしていたのですが、冬は凍結防止の為に水がありませんでした(5)。とても残念でした。

Semesterが終わり、留学生在が帰る前にフランス人含め、お別れ会がありました(6)。コースが異なりあまり会うことができなかった人たちにも会って話すことができたのでいい思い出になりました。本当にいい人たちばかりで離れてしまうのがとても寂しいです。またいつか会う時が来ればいいなと思います。



海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2/1 ~ 2/28)

1. 学習について

大学がなかったため特に記述することがありませんが、次の大学で受ける授業を考えたりしました。また、卒業研究の展示のため、自分の卒業研究を見直したりしました。

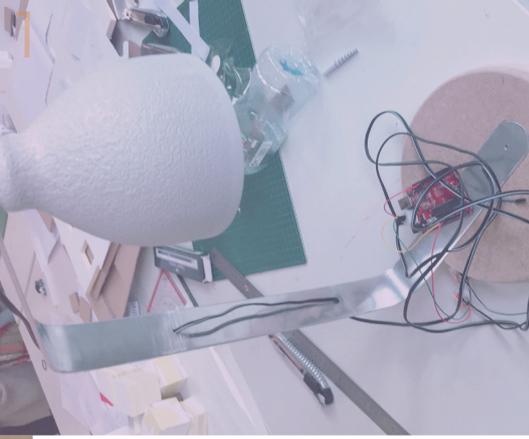
2. 生活について

1月中にフランスの寮を出なければいけなく、2月の初めは次にナントに来る子のお家にお世話になりました。ナントでは牛丼を食べに行ったり(1)、2月中に日本に帰国する他大学の留学生のお別れ会をしたり(4)と日本をたくさん感じることができました。また、パリに行った際は雪が積もるという嬉しいハプニングもありました。ルーブル美術館は無料で入れるので休みながらゆっくり時間を使って楽しむことができました(3)。そして日帰りでコルマルという村にも行ってきました(2)。ドイツに近いということもあり建物の雰囲気や食べ物がナントとは全く違っても楽しかったです。

また、2月の終わりにはイギリスに1人旅に行きました。ロンドンの中で行きたかったところにはほとんど行けたと思います。初めて大英博物館にも行きました(5)。人が多くしっかりと解説を読むことができなかったため、歴史的重要なものたちの重要さがあまり理解できずもったいないことをしたなと思いました。夜にはミュージカルを見に行きました。Aladdinを見ました(6)。英語でしたがコミカルでジーニーたちが面白く大変満足しました。ライオンキングもやっているみたいなのでもう一度行って見てみたいなと思いました。



雪のルーブル美術館



海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：3 / 1 ~ 3 / 31)

1. 学習について

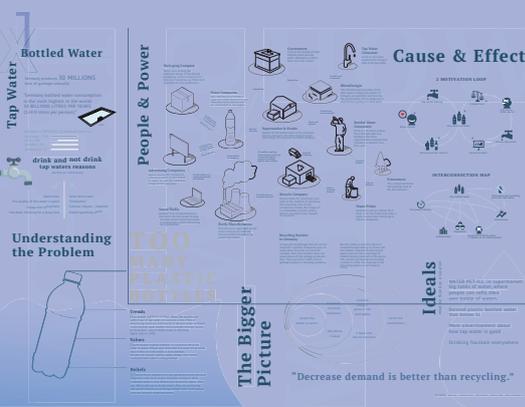
3月の最終週に様々な工房の使い方を知るためのワークショップが3日間で行われました。1日目は木材、金属を扱うための工房でそれぞれの機械の使い方のレクチャーを受け、少し使ってみました。木材の工房については、千葉大に居た時やナントの大学で使ったことのある機械が多かったのもう一度注意する点などを思い出すのに丁度よかったです。金属の工房では初めてのものが多かったのもとてもワクワクしました。2日目と3日目を使い、“Heavy Desk Lamp” (1) を木材と金属を使い作りました。グループで作業を行い、金属を曲げたり、木を削ったりするのはとても楽しかったです。また、Arduinoを使い、タッチセンサー式のライト部分の制作も行いました。今回は時間がないため、自分たちでコードを書くことはしませんでした。配線の仕方などを再確認できたので良かったです。それぞれのグループでサイズや曲げ具合などを考え設計したので、最終的に完成したものはそれぞれのグループで異なっていました。

今回同じ時期に International の生徒として勉強していく仲間たちにも会うことができました。(1) みんな喋りやすく、これからもっともっと仲良くなれたないなと思います。

2. 生活について

3月は大学の友達がケルンに遊びに来てくれました。半年ぶりに会えたので本当に嬉しく帰ってしまう日はとても寂しかったです。ケルン市内の観光では夜に大聖堂とは対岸にあるビルの屋上に行き、夜景を楽しみました。(2) ここから見える景色はとても綺麗で、夏になると夜10時まで空いていて違う景色が見えると思うのもう一度行きたいなと思いました。ケルンの観光は1日でだいぶ見れたので次の日に弾丸でHamburgやローテンブルクに行きました。ハンブルグではドイツの観光スポット一位のミニチュアワールド(3)を訪れました。いろいろな国がミニチュアで作られていて友達ととてもはしゃいでしまいました。ローテンブルクは町並みが綺麗だったので一日中歩き回ってたくさんの写真を取りました。(4) 建物の雰囲気がケルンとは違い古き良き建物の感じが残っていました。

またイースターの連休を使用しポルトガルのリスボンへ行きました。ユーラシア大陸の最西端やリスボン市内や水族館(5)などたくさん場所に行きました。坂が多く移動は大変でしたが景色が綺麗で食べ物が美味しかったのでいけて良かったです。水族館自体がもともと好きだったので久々に行くことができ、とても嬉しくたくさんの写真を取りました。



海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：4 / 1 ~ 4 / 30)

1. 学習について

4月に入りようやく授業が本格的にスタートしました。一番初めに行った Short term project では "Systems thinking and sustainability in cologne" というテーマでグループ毎にケルンについてテーマを考え、リサーチを行いポスター制作 (1) をしました。私達のグループは水に焦点を置き、水道水とペットボトルの水について調べました。水道水を飲むかどうかという話になった時、私以外のグループメンバーはケルンでも水道水を飲むとっていてとても驚きました。ケルンの水道水は基準が高いため、身体に外がないとわかっていますが、味が美味しくなく匂いも独特なためどうしても受け付けません。特に、私が育ってきた環境が水の美味しいところだったため余計に無理でした。そのため、この授業で自分以外の意見を聞くことができるのは本当に楽しく、みんなで水道水について割と深く話し合うことができましたと思います (2)。今回は月曜が休みだったため、普段より1日短かったため少し忙しかったですが、ポスターを完成できて良かったです。

メインの授業も始まり、今まであまりやったことのないことなので頑張っていきたいです。またドイツ語の授業もあるので少しでも理解できるように頑張りたいです。

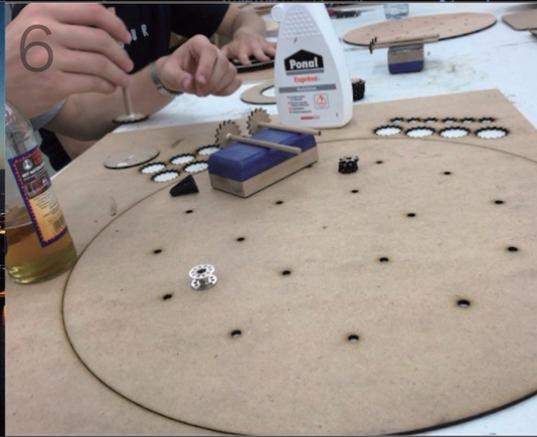
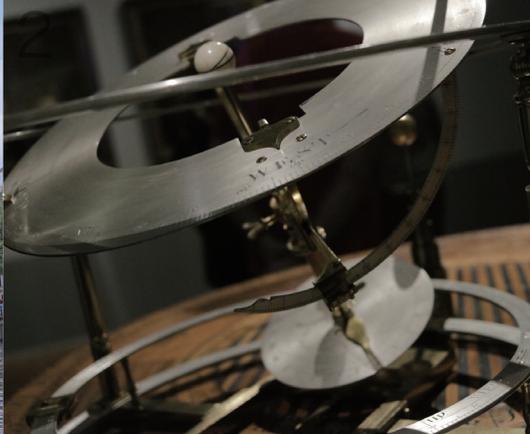
2. 生活について

4月に入り日が長くなり、寒い日もありましたが、急に真夏みたいに暑くなる日も増えてきました。ケルンは日差しが気持ちよくとてもいい街だなと思います。

留学生のみんなで公園に行きバーベキューを行いました (3)。この日はとても天気がよく、公園には日焼けを楽しむ多くの水着姿のドイツ人が居ました。日本とは違い公園のどこでもバーベキューが可能なのはすごいなと思いました。みんなでビールを飲んだりフリスビーで遊んだり歌を歌ったりと、暗くなるまで楽しみました (4)。もっと仲良く慣れた気がしたのであと3ヶ月で更に仲良く慣れたらいいなと思います。

ケルンの隣町であるボンに桜を見に行きました (5)。桜並木は想像以上に綺麗でした。ただ、日本の桜とは色のこさなどが違うように思えるので日本に帰って、来年は日本の花見を楽しみたいなと思いました。

4月の終わりにはナントで仲良くなった子がケルンに遊びに来てくれました。2ヶ月ぶりに合ったのでナントのみんなの話などを聞いたりしてとても盛り上がりました。また、日曜日には遊園地に行き、絶叫マシンを楽しみました (6)。日本のものとはまた違った面白さがあり、とても楽しかったです。



海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：5 / 1 ~ 5 / 31)

1. 学習について

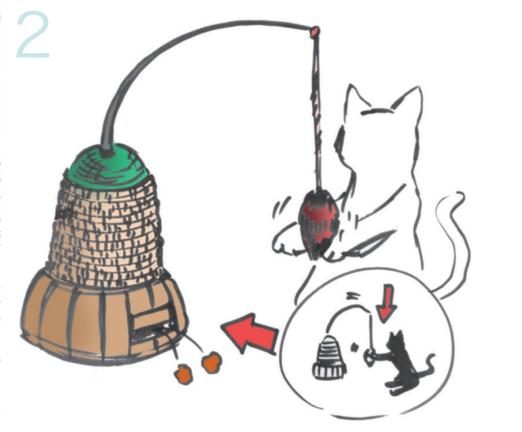
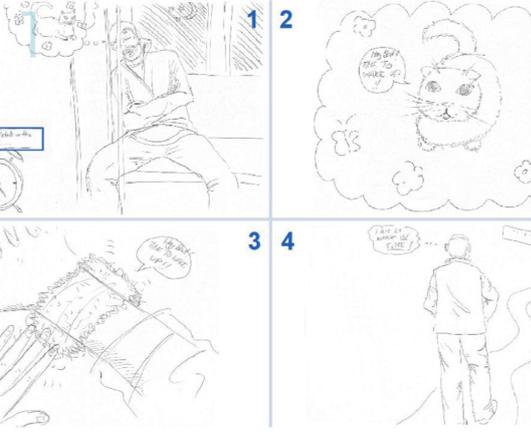
今、私は 'Long term project' 一つと 'seminar' を一つとドイツ語のクラスを取っています。'Long term project' は火曜と木曜の週2回の授業で、"Kinetic independency" というテーマで Machine を作っていく授業です。グループワークで Master の人たちとも意見交換ができるいい機会になっています。私達のグループは "Motion patterns" というテーマで1つの単純な動きをたくさん合わせてなにか面白いものを作るという方向になりました。今月は様々な単純な動きを考えプロトタイプを作り、検証するというのを繰り返し、回転するものに決まりました。今はその回転を、複数になったときにどのように動かし制御するかをプロトタイプの作成を通して考えています。(6) このプロトタイプ作成を通し、うまくいく構造がみつけれればいいなと思います。7月の中旬が最終発表になるのでそれまでグループの人達の役に立てるように頑張りたいと思います。

ドイツ語の授業では、日常生活で使えることを教えてもらっています。ドイツ語の発音は日本語に近い気がするのでフランス語よりもやりやすいです。しかし、たまにフランス語で覚えた単語たちが邪魔をしてきて混乱しています。特に数はごっちゃになることが多くて覚えるのが大変です。

2. 生活について

5月に入り、ケルンの気候が一気に夏に近づきました。25度前後の日が多い上に、30度まで最高気温が上がる日が出てきたりしていますが、日本と違いカラッとしているので過ごしやすいです。青空もたくさん見れるのでとても気持ちいいです。しかし、日差しが強いため日焼けをしやすいです。日焼け止めが必需品になりました。

当月は祝日の都合で、ほぼ毎週4連休という奇跡みたいな日程でした。なので、このお休みを利用し、アムステルダム、ブリュッセル、パリ(ディズニー)に旅行に行きました。アムステルダムでは運河クルーズ(1)をしたり、久しぶりに友達に会えてとても楽しかったです。美術館にも行けてよかったです(2)。ブリュッセルは一人で行きましたが、フランス語圏ということもありそれほど怖くありませんでした。また久しぶりのフランス語だったため、懐かしく感じました。院試のときに勉強したアール・ヌーヴォー建築を実際に見ることができ、とても興奮しました。(3・4) 街中の建築も綺麗で楽しかったのですが、個人的には治安がそれほど良くないと感じました。パリディズニーに関しては話すとき長くなるので割愛します。また、留学を通じて得た新たな人脈もあり、そういう人たちをケルン案内できて楽しかったです(5)。



海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：6/1 ~ 6/30)

1. 学習について

6月はメインで取っている“Hyper machine”とは別に Short Term Project の授業がありました。この授業は UX についてメインで考えました。テーマは “From unconscious to conscious: Design the transition between dreams and reality” で、私のグループは電車で寝てしまった時にどのようなシナリオが考えられるかを考えていきました。まず、どのような人が電車で寝るのかを考えペルソナを詳しく設定し、その人にあったシナリオを作り (1)、プロトタイプを作成し、演劇風にプレゼンを行いました。今回は家で猫が遊ぶことで電車の中で使用するネックピローと相互作用するプロダクトを考えました (2) (3)。プレゼンの仕方がいつも違うため、大変でしたがメンバーと気持ちよく作業できたので良かったです。

メインの “Hyper machine” は7月の最終に向けて制作が忙しくなってきました。レーザーカッターや3Dプリンターなどを使って制作を行っていくのは作業工程を見たりして楽しかったです。しかし、見た目のためにヤスリがけをしたり、パーツごとを組み合わせるのには細部まで注意深く行ってなければいけなかったため少し大変でした。7月の中旬には Exhibition があるので、その時に完成したものがしっかり見せられるように頑張りたいです。

2. 生活について

Gute Stube での活動も2ヶ月半以上が経ち、エスプレッソの入れ方やフォームミルクの作り方にもだいぶ慣れてきました。最初は難しくて全くできなかったラテアートもだんだんとできるようになってきました。(4) たまに上手にできたときは提供したお客さんにも褒めてもらえ喜んでもらえるのでとても嬉しいです。せっかくコツが掴めるようになってきたので日本でもやっていきたいなと思います。6月は雨もほとんど降らず、天気良かったのでみんなで BBQ をしたり、公園でのんびりしたりして過ごすことが多かったです。BBQ では、何を焼くかとかどの様に焼くかでその国の個性が現れてとても興味深かったです。特に中国の BBQ のやり方をたくさん教えてもらいました。公園で自由に BBQ をできるのはドイツの良い所だなと思います。6月の終わりには私の誕生日がありました。この日に友達が出るフリーのコンサートがあり、みんなで見に行きその後公園でお酒を飲みながらのんびりしました。友達が日本語で書いた誕生日カードをくれ、本当に嬉しかったです。また私と誕生日が近い子をあわせてサプライズケーキでお祝いしてくれました。こんな素敵な誕生日を過ごせるのも留学ならではのなご実感したので、留学に来てよかったなあと再度思いました。



海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：7/1 ~ 7/31)

1. 学習について

7月に入り、すべての授業が終りを迎えました。無事にすべての授業が終えられ安心しました。すべての授業が終わったあとに“GALA”と呼ばれる文化祭のような雰囲気、学校全体で行う展示会がありました。私も“Long project”でグループで取り組んだ作品を展示しました。

GALAでは展示の仕方や部屋の証明など、その作品がより伝わるようにすべてのことを自分たちで決めていきました。作品自体はできていましたが、どのようなものに置くか、どのぐらいの高さが良いのかなどを話し合っていき、作品自体の透明さを活かすために反射が見える素材を台にしました(1)(2)(3)。また、私達の作品に関しては、授業の先生からプロセスがわかるように展示しなさいという指示が出ていたので、(4)の様に展示を行いました。ポスターやビデオなどを効果的に使い、作品の魅力を伝えています。手動ではうまく動くのですが、用意した動力ではうまく動かなかった点は反省点であると思います。

作品を見てくれた人たちから、「素敵」「カッコいいね」などとお褒めの言葉をいただいたのでとても嬉しかったです。最終に向けてとても忙しかったですが、良いものができてよかったなあと感じました。

2. 生活について

段々と顔を覚えてくれて話しかけてくれる人が増えていったのに“Gute Stube”での仕事も残りわずかになり、少しさみしい気持ちになりました。仲良くなった人が他の友達とドイツビールやソーセージなどで朝食を作っていて、たまたま Gute Stube で働いていた私におすそ分けをしてくれました(5)。ソーセージもプレッツェルもとても美味しかったです。朝だったのでビールはもちろんノンアルコールでしたが、美味しかったです。

7月に入り、自分の国に帰国していく人が出始め、KISDに来ていた中国人たちとみんなでお別れ会を兼ね、みんなが絶賛する中華料理屋さんに行きました(6)。料理はとても美味しかったです。油が強く少し胃もたれをしてしまいました。14人という大勢で行きましたが、いろいろな人とたくさん話をできてとても楽しかったです。私の中でも香港出身の人たちととても仲良くなり、広東語のフレーズを教えてもらったり、日本語を教えたりしました。いつかお互いの母国語でも会話ができるように、私は広東語を学んでいきたいなと思いました。

11ヶ月ぐらいの留学生活は大変なこともありましたが、沢山の友達もでき、とても楽しいものになりました。